## 特許協力条約

PCT

## 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人 の客類記号 KPO-0408-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出題番号 PCT/JP2004/015486	国際出願日(日.月.年) 20.10.2004	優先日 (日.月.年) 12.11.2003		
国際特許分類(IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> H01Q9/28,	27.			
出願人(氏名又は名称) 株式会社秀峰				

	<del></del>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	*	····
		Γ35 条に基づきこの国際予備審査機 PCT36 条)の規定に従い送付す		ニ国験予備審査報告である。	
2. この国際予	備審査報告	ちは、この褒紙を含めて全部で	4	ページからなる。	
		異物件も添付されている。 部で ページでも	<b>ある</b> 。		
		、この報告の基礎とされた及び/X は図面の用紙(PCT規則 70.16 及			月細書、請求の範
		及び補充概に示したように、出願問 査機関が認定した差替え用紙	きにおける 国際と	出願の開示の範囲を超えた補正を	合むものとこの
配列	媒体は全部表に関するを含む。	がで	・夕読み取り可能		額、数を示す)。 そに関連するテー
4. この国際予	備審査報告	旨は、次の内容を含む。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
4         4	第II 概 第IV概 第VI概 第VI概	国際予備審査報告の基礎 優先権 新規性、進歩性又は産業上の利用 発明の単一性の欠如 PCT35条(2)に規定する新規性、 けるための文献及び説明 ある種の引用文献 国際出願の不備 国際出願の不備			、それを宴付

国際予備審査の請求書を受理した日 25.11.2004	国際予備審査報告を作成した日 04.10.2005			
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 吉村 伊佐雄	5 T	4235	
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線	3 5	6 8	

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

### 第一	FI 概	報告の基礎			
一 この報告は、	この	国際予備審查報告	+ 下記に元十塩合を除く	ラスト 国際山窟の	Store & devote 1
それは、次の目的で提出された語歌文の首語である。 「 PCT規則に2.4にいう国際公開					言語を基礎とした。
PCT規則12.3及び23.1(に)にいう国際四套		この報告は、	語による翻訳プ	文を基礎とした。	
P C T 規則55. 2次は55. 3にいう国際子偏審査   2の報告は下記の出版書類を基礎とした。 (左第6条 (P C T 14条) の規定に基づく命令に応答するために提出: 2を持え用級は、この報告において「出願時」とし、この報告に談付していない。)	l				
P C T 規則55. 2又は55. 3にいう国際子偏審査  この報告は下記の出願書類を基礎とした。 ( 佐第6条 ( P C T 14条) の規定に基づく命令に応答するために提出	ļ	ドし 1 <b>宛</b> 凤114. 3	<b>及び23.1(b)</b>    にいり国際脚	査	
この報告は下記の出頭書類を基礎とした。 (法第8条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出:	i	アクエをは155.9	だいり国際公開		
日本の一部の「日本のでは、日本の	•	I O I NUNGOU.	メル55. JICY・フ座域 J 766年	<b>萨登</b>	
□ 出願時の国際出願書類  「 明柳書	この	報告は下記の出願さ	<b>野類を基礎とした。 (法第</b>	56条(PCT14条	) の想定に基づく命令に広筌するために提出さ
□	き替え	用紙は、この報告に	こおいて「出願時」とし、	この報告に添付し	でいない。)
第	V	出顧時の国際出願	<b>主</b> 精		
第 ページ・	ATALIng.				
第 ページ* 付けで国際予備審査機関が受理した・ 第 ページ* 付けで国際予備審査機関が受理した・		··· <del>-</del>			
第 ページ* 付けで国際予備審査機関が受理した。					されたもの
第一 スージ*、 付けで国際予備番査機関が受理した・			~ <u>-</u>	ジ*、	
第一 項、出願時に提出されたもの 第一 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第一 項*、 付けで国際子備審査機関が受理した。 第一 ページ/図、出願時に提出されたもの 第一 ページ/図*、 付けで国際子備審査機関が受理した。 第一 ページ/図*、 付けで国際子備審査機関が受理した。 第一 ページ/図*、 付けで国際子備審査機関が受理した。 第一 ページ/図*、 付けで国際子備審査機関が受理した。 第一 ページ/図*、 インジーの 配列表に関連するデーブル 配列表に関連する 補充機を参照すること。 種正により、下記の 替類が削除された。 「明和書 第 ページーの 配列表(具体的に記載すること) この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) 明和書 第 ページーの 図面 ページーの 記列表(具体的に記載すること) この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を スージーの報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した相正が出願時における開示の範囲を スージーの報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) 開却の範囲 第 ページーの 記入と、クージーの 記入と、クージーの 配列表に関連するデーブル(具体的に記載すること)		第			
第 項、出版時に提出されたもの 第 項* PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第 項* 付けで国際予備審査機関が受理した。 第 何けで国際予備審査機関が受理した。 何はで国際予備審査機関が受理した。 何はで国際予備審査機関が受理している 「可能を関する」 「可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可		請求の範囲			
第 項 ( PCT 1 9 条 の規定に基づき補正されたもの 第 項 ( 付けで国際予備審査機関が受理した。			. 3	每一 用酶時に提出	مم د يد ما خد ه
第一 項* 付けで国際予備審査機関が受理した。		第			
第 項*、 付けで国際予備審査機関が受理した。		第	1	<b>質*</b> 、	
第		第			
第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも 配列表に関連するテーブル 配列表に関連する存出を			•		The second secon
第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも					
第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの を列表に関する補充物を参照すること。  補正により、下記の警額が削除された。  「 明細書 第					
第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したも 配列表に関するデーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。  補正により、下記の参類が削除された。  「 明細書 第 ページ/図			ページ/図	<b>∄</b> ≠、	付けで国際予備審査機関が受理したも
配列表に関するデーブル 配列表に関する神充欄を参照すること。  補正により、下記の警類が削除された。  「 明和書 第		第	ページ/図	<b>]</b> *,	付けで国際予備審査機関が受理したも
えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))  「明細書 第	- *	明細書 請求の範囲 図面 配列表(具体的	第 第 第 に記載すること)		項
えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))  「明細書 第					
えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))  「明細書 第	<u>پ</u>	の報告は、補充欄	アデンセトラに この知点	-1-354444	
明細苷       第       スージ         開水の範囲       項         図面       第       ページ/図         配列表(具体的に記載すること)       配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)		てされたものと認	にかしたように、この <sub>報号</sub> められるので、その補正が	だに旅行 されのかつとく	头下に示した補正が出願時における開示の範囲を へい、
請求の範囲       第         図面       第         配列表(具体的に記載すること)          配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	<b>-</b> ~			* こ 4 いみルーン /こ しゃ	リとしてFMLした。(PCIMUN (0.2(c))
図面 第	ļ			•	ページ
配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	-	•			
配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	i				ページ/図
	r		_ <del>-</del>		
				69 DCC/	
1 m 全力 以 - h m 1 m A					
1~#が以上・7 LB 人					
ア計ルー・フロス					
I BU MINIST A TOLAN CATALOGUE FOR A SECOND IN THE SECOND I	に設	ないナス但今 その			
. に該当する場合、その用紙に「superseded」と記入されることがある。	, 100,00	ペコックをロロ、 しゃ/	用棋に supersegea <60	入されることかぁ	<b>うる。</b>

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

第V個 新規性、建歩性又は産業 それを裏付ける文献及び	上の利用 可能性についての法第 12 条(PCT35 条(2 説明	2))に定める見解、
1. 見解		
新規性 (N)	請求の範囲 1-17	有
	請求の筵囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-17	無
産業上の利用可能性(IA)	<b>請求の範囲</b> <u>1-17</u>	有
	請求の範囲	4me

## 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1:JP 2-256304 A (株式会社本田電子技研) 1990.10.1 7,全文、全図(ファミリーなし)

文献2: JP 2003-90903 A (株式会社秀峰) 2003.03.28, 全文,全図(ファミリーなし)

請求の範囲1-17に係る発明は、国際調査報告で提示した文献1、2により進歩 性を有しない。

すなわち、文献1には、フィルムに、メッシュ状に配線されたアンテナが記載され ている。

また、文献2には、メッシュ状の導電部材の形成方法が記載されている。

文献1において、適宜文献2のような何らかの形成方法を用いてメッシュを形成す ることは、当業者が適宜なし得たことである。

そしてその寸法をどの程度とするか、アンテナをどのような部材に適用するか等 は、当業者が所望により選択し得る設計的事項に過ぎない。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015486

第四欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲1において、「マイクロ画像要素線」あるいは「併列要素線」という語 句が記載されているが、どのようなものを意味しているのか不明である。

請求の範囲13-16において、「電磁波エネルギー処理装置」と記載されているが、 具体的にどのようなものを意味するものか不明である。

明細書中において、[0018]で、「画像の鮮明度合いを目視により比較した・・・本実施例1によるものは・・・各チャンネルにおいて鮮明な画像が得られることを確認した」とされているが、アンテナにより受信された画像情報を、何らかの処理回路を介して撮像した画像について、目視によって確認したことのみによって、そのアンテナの効果が客観的に示されるものとは認められず(通常、アンテナの性能は、受信レベル等によって数値的に評価されるものと推量される。)、本願発明が、どのような技術的根拠に基づき発明され、その結果どの程度、従来と比較して、どのような効果が得られるものであるか不明である。